

2022年度 放課後等デイサービス自己評価 (事業者向け)

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標・工夫点など |
|------------------|---|---|----|---------------|-----|---------------------------------|
| 環境・ 体制 設備 | 1 | 利用定員が指導訓練室などのスペースとの関係で適切であるか | | ○ | | 広さは足りているが、必要な設備が整っていない（更衣場所・個室） |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | | | ○ | 要望は上げているが、一年以上改善されていない |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | バリアフリー以前に、老朽化している所の修繕が出来ていない |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか | ○ | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | ○ | | 人員不足の為、受講が出来ない |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしているか | ○ | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかに設定して支援しているか | ○ | | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | | ○ | | 人員不足の為、顔を合わせずに送迎に行かなくてはならない事が多い |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | |
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---------------------------|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | ○ | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | |
| | 21 | 学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか | ○ | | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | 今年度は必要なケースがなかった |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | 該当者なし |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | ○ | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | |
| | 27 | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | |
| 保護者へ | 30 | 運営規定、支援内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | | 人員不足の為 1回(特別支援学校保護者)のみ |

| | | | | | | |
|---------------------------------|----|---|---|---|---|---------------------------------|
| の 説 明 責 任 等 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に品測かつ適切に対応しているか | | ○ | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ○ | | 予定関連は行えているが、会報は出来ていない。日々の連絡帳のみ。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 38 | 緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | | | ○ | |
| | 40 | 虐待を防止するための、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | | ○ | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得たうえで、放課後デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか | | | ○ | 該当者なし |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | |